

2. 治療を続けながら働きたい

現状ではがんに特化した休職制度はありませんが、主治医ともよく相談しながらご自身の治療計画に合わせて、就業計画を立てることが大切です。必要に応じて産業医や産業保健師、職場の人事関係担当者、がん相談支援センターの相談員、総合労働相談コーナーへ相談できる場合もあります。職場の就業規則や傷病休暇制度をはじめ、仕事を持つ人向けの制度や情報を集めておきましょう。

(1) 労働問題全般についての相談

■総合労働相談コーナー

県内の労働局、労働基準監督署内で、無料で労働問題の専門家が相談に応じています。相談内容によっては、担当窓口をご案内する場合があります。(受付:平日 9時~17時 正午から13時まで除く)

沖縄労働局総合労働相談コーナー ☎ 098-868-6060

那覇総合労働相談コーナー ☎ 098-868-8008

沖縄総合労働相談コーナー ☎ 098-982-1400

名護総合労働相談コーナー ☎ 0980-52-2691

宮古総合労働相談コーナー ☎ 0980-72-2303

八重山総合労働相談コーナー ☎ 0980-82-2344

■中小企業労働相談所(労政・女性就業センター内)

給料や残業代を払ってくれないなど、労働問題全般について、公正・中立の立場で相談に応じています。月・水・金曜日は社会保険労務士が対応します。(受付:平日 8時半~17時)

フリーダイヤル ☎ 0120-610-223

■沖縄県社会保険労務士会 総合労働相談所

労働問題全般に関する相談を、社会保険労務士が無料で対応します。相談は第1、第3土曜日(祝日除く)の14時~16時、電話か来

所。来所の場合は事前に電話またはFAXでご予約をお願いします。(受付:平日 9時~16時) ☎ 098-863-4395 FAX:098-863-3563

(2014年2月現在)

(2) 小規模事業所の事業主や労働者の身体やこころの健康相談

■沖縄産業保健推進センター

相談員(メンタルヘルス支援担当)が予約面談、FAX、Eメール等で相談に応じ、解決方法を助言します。

電話相談 (受付:13時~17時) ☎ 098-859-6175
※相談者の方の日程と相談員との日程調整をいたします。

予約面談 (受付:9時~17時) ☎ 098-859-6175
(来所にて相談)※来所日については、来所する日と時間を連絡いたします。

沖縄県那覇市字小禄1831-1 沖縄産業支援センター2階(203-1)
<http://www.sanpo47.jp>

(3) 生活から就職までの総合相談

■グッジョブセンターおきなわ

皆さまの「働きたい」「雇用したい」を応援します。若年者、中高年齢者、子育て中の女性、さまざまな理由で長い間就職できずにお困りの方や生活に不安を抱える方など、さらには事業主の方をサポートします。(受付:平日 9時~17時 ※祝日除く)

グッジョブセンターおきなわ ☎ 098-865-5006

沖縄県那覇市泉崎1-15-10 1F
<http://www.gjcenter.jp/index.jsp>

グッジョブセンターおきなわ 中部サテライト ☎ 098-923-0078
北谷町北谷2-13-3



コチラもCheck!

☞ P45 「社会とのつながりを保つ」

(4) 女性の就業相談、仕事と子育ての両立などの相談

■ 労政・女性就業センター

就職を希望する女性に対して、就業に関する相談(内職を含む)および就業に必要な技術講習や情報提供を行っています

労政・女性就業センター 三重城合同庁舎5階 ☎ 098-863-1788

労政・女性就業センター沖繩相談所 コリンザ2F ☎ 098-934-6607

■ 母子家庭等就業・自立支援センター

ひとり親世帯および寡婦(40歳以上の独身女性で、かつてひとり親として児童を扶養していたことのある方)を対象に、電話や面談によりさまざまな相談を受け付けています。主に就業相談・養育相談・法律相談を行っています。(受付:月・火・木・金曜 9時~17時)

電話相談可、来所相談は要予約 ☎ 098-887-4099


(5) 働くがん患者の支援団体

 一般社団法人CSRプロジェクト ☎ 03-6456-1700
<http://workingsurvivors.org>

がん治療に伴う経済的な不安や雇用に関する不安など、電話相談にも対応しています。電話相談は事前に申し込みが必要です。

 NPO法人キャンサーリボンズ ☎ 03-3546-6101
<http://www.ribbonz.jp>

『がんと働く』プロジェクトで、がんをもっていても自分らしい働き方を続けられることを目指して、リワークノートの発行やさまざまな情報提供をしています。

 働くがん患者と家族に向けた包括的支援システムの構築に関する研究
<http://www.cancer-work.jp>

患者と家族・人事労務担当者・産業保健担当者の3者の視点を生かした支援リソースに関する開発や情報発信をしています。また、「がんと仕事のQ&A」「事業所向け対応マニュアル」といった小冊子をダウンロードできます。

体験談



「仕事と、子育てと、がんの治療」

3人目の子供を出産し、しばらくして「乳がん」の診断を受けました。

覚悟はしていました。以前よりしこりがあった検診を受けてきたので、大きくなってきたしこりに「やっぱりか〜」と。先生より抗がん剤治療と手術の説明があり、治療は受けるつもりだけど、小さな3人の子供のこと、仕事のこと、治療費のこと、不安はいっぱいでした。

夜勤のある仕事をしていますが、家計のことを考えると仕事を辞めるわけにはいきません。でも、治療を受けながら働けるのか不安でした。抗がん剤の副作用で髪の毛が抜けたり、体調が悪くなったりしても業務がこなせるだろうか。そもそも働いて良いのだろうか。

そんな悩みを所属長と乳がん経験者の上司が支えてくれました。夜勤をなくし、日勤のみに勤務形態を変更し、「まずはやってみよう！」と声をかけていただいたのです。私の休みの日に所属長から同僚へ、病気で配慮が必要なことを説明してくれたようです。

いざ治療が始まってみると、上司が日々の様子を気にかけてくれて、体調不良の時には早退したり、体力を使う力仕事ではなく事務仕事に切り替えてくれたりと、何とか勤務を続けることができました。

今思えば、仕事と子育てで毎日が目まぐるしく、病気のことを考えるのは病院に来ている時だけで、病気のことを思い煩う時間がなかったことが、逆に、私にとって病気を乗り越える助けになったと思います。

(30代 女性)